

2. [雲南市立病院の建設について]

大東町会場（古代鉄歌謡館）

Q16：市立病院の関係について質問と意見を述べる。総事業費65億円で建設事業や医療機器整備をされるとのことだが、ざっくりとした内訳を教えてください。私の感想としては、65億円は正直かなり少ないなという印象を受けている。その金額でどんな整備ができるのかと思っている。市庁舎建設についてこの後説明があらうかと思うが、市庁舎よりも市立病院を充実させてくれというのが私の述べたいところ。

A：総事業費65億円の内訳は、設計・解体工事・建設工事で52億円、医療機器が8億円、土地購入を含めた外構工事が5億円の計65億円を見込んでいる。額が少ないのではないかとということだが、昭和42年建築の西棟が8,229㎡、東棟が2,950㎡、南棟が7,090㎡、ふれあい病棟もあり、病院が所有する建物は総面積が23,000㎡となっている。市庁舎は7,300㎡であり、約3倍強の面積を有している。総事業費を少なくするということもあり、平成に建てた南棟と東棟の機能は今回残し、西棟の機能を中心としたものをふれあい病棟や文化倉庫を壊した跡地に建設する計画をしている。今回14,000㎡程度の建設面積とする考えである。(病院事業副管理者)

Q17：市立病院建設について、本庁舎建設よりも市立病院建て替えが先だったのかなという思いがしているが、建てる決断をされたことには敬意を表する。私は市立病院に行きやすい交通の便をお願いしたい。市民バスは、朝はすべて市立病院に行くが、帰りの14時30分の便、海潮は2路線あるが、そのすべてが幼稚園・小学校で待機している。佐世も14時30分に待機している。そのバスを市立病院経由にして幼稚園・小学校を回らせるということにしてほしい。高齢者など交通弱者に市立病院に来ていただくために行きやすくしていただきたい。

A：せっかく市立病院を作っても、利用しにくい病院ではいけないということ。ご意見を拝聴し、利用しやすい環境づくりを実現したい。(市長)

Q18：病院を建てなおされるが、その際仮の病棟はどこにできるのか。

A：病院なので、営業を停止してというわけにはいかない。今、考えているのは、療養病棟のふれあい病棟48床、これを南棟4階、これは以前精神科病棟だったが、今常勤の医師がおらず閉鎖になっている状況なので、そこへ移転し、ふれあい病棟、文化倉庫と医師住宅の一部を取り壊して、バイパスに向けた新しい建物を建てさせていただきたい。その後、29年度開院した後、西棟を倒して駐車場を用意する形を考えている。工事期間中は、駐車場が少なく不便をおかけすることになるが、医療を中止することはないのでご理解いただきたい。(病院事業副管理者)